



しあわせ信州



長野県(教育委員会)プレスリリース 令和2年(2020年)3月31日

北アルプス地域の市町村図書館で

コンソーシアム

新聞記事データベースの共同利用

が始まります

北アルプス地域5市町村(大町市・池田町・松川村・白馬村・小谷村)では、広域連携の一環として、市町村図書館における**新聞記事データベースのコンソーシアム(共同)利用**を4月1日から開始することになりました。

これは、県立長野図書館がサポートを行い、小規模図書館では価格的に契約が難しい商用データベースを広域単位で共同契約することにより導入を可能にしたもので、これによって各図書館のデジタル化推進や情報提供力の強化、地域住民がアクセスできる情報量の増加が図られ、生涯学習機会の充実につながります。

コンソーシアム(共同)利用について

(1) 概要: **朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」**を大北地域5市町村図書館で共同利用できる契約を結び、利用アカウントを共有する。

【対象図書館】市立大町図書館(TEL:0261-21-1616)、池田町図書館(TEL:0261-62-5659)

松川村図書館(TEL:0261-62-0450)、白馬村図書館(TEL:0261-72-5200)

小谷村図書館(TEL:0261-82-2587)

(2) 目的: 地域住民の利便性向上、情報アクセス環境・生涯学習機会の充実、公共施設の有効活用

(3) 共同利用開始日: **令和2年4月1日(水)**

(4) 事業名: 北アルプス連携自立圏 図書館相互利用促進事業

(5) 県の支援: 県立長野図書館が事業者との交渉・市町村図書館間の意思調整を実施

事業費の一部に「市町村の広域連携推進事業交付金」(県事業)を活用予定

朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」

○朝日新聞、AERA、週刊朝日、人物、写真、英文などのコンテンツを収録

○昭和戦後(大北地域の場合)から当日までの朝日新聞の紙面・記事をインターネットで検索、閲覧可能

○朝日新聞の記事・広告は、約1500万件の検索が可能

○大学・公共図書館向けサービスで、利用料は月額固定制



「聞蔵Ⅱビジュアル」利用画面

県立長野図書館は地域の情報基盤を整えていきます

県立長野図書館は、規模の小さな町村図書館においてもデータベースが導入され、県内のどこに住んでいても多様な情報に等しくアクセスできる環境を市町村図書館と共に整えていきます。

そのために、このようなデジタル情報資産の広域利用をさらに推進するためのサポートをしてまいりますので、関心のある市町村および事業者の方はぜひ当館へご相談ください。

問合せ先

教育委員会事務局文化財・生涯学習課 総務係

(課長) 小林 司 (担当) 刈間 勇斗

電話 026-235-7439(直通)

026-232-0111(代表) 内線 4424

F A X 026-235-7493

E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

県立長野図書館 企画協力課

(館長) 平賀 研也 (課長) 荻原 一幸

電話 026-228-4939(企画協力課直通)

026-228-4500(代表)

F A X 026-291-6252

E-mail ken-tosho@library.pref.nagano.jp



— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —

学びと自治の力で拓く新時代

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5年計画)推進中

学び応援キャラクター「信州なび助」

©長野県教育委員会信州なび助